

朗読・ボイスドラマ脚本

タイトル：「12月、ふたご座流星群の約束」

時間目安：約10～12分

登場人物（声優想定）

- ・ 蒼空（そら）：高校三年生の少年（素朴・少し内気）
- ・ 凧咲（なぎさ）：クラスメイトの少女（明るく落ち着いた声）
- ・ ナレーション：中立・情感のある大人の声

【オープニング】

《BGM：♪静かなピアノ・冬の夜を思わせる旋律（fade in）》

《SE：風の音、かすかに足音、教室のざわめきが消えていく》

ナレーション

冬の夕暮れ。
ひんやりとした空気が、教室の窓を白く曇らせる頃。
放課後の教室に残っていたのは、たった二人だけだった――。

《SE：シャーペンの走る音／静かな空気》

凧咲（優しく）

ねえ、そらくん。…12月14日って、何の日か知ってる？

蒼空（少し戸惑い）

え…？ えっと…クリスマスまであと10日？

凧咲（笑う）

ぶっぶー。違います。正解は…ふたご座流星群！

蒼空

流星群？

凧咲

うん。一年でいちばん、流れ星が見える日なんだって。

（…）

凧咲（少しだけ照れた声で）

よかったら、…一緒に見に行かない？

蒼空（少し驚いて）

……いいの？

凧咲（微笑んで）

勉強の息抜きに、さ。

《SE：夜道を歩く足音／缶を開ける音》

蒼空

…なんで、そんなに好きなの？ 流星群。

凧咲（静かに）

…んー。誰かと一緒に空を見てるって、それだけで嬉しくなるからかな。

蒼空

願いごと、するため？

凧咲（少し笑って）

それもあるけど…同じ空を見ていた、って記憶が、わたしは好きなの。

《SE：缶を置く音、吐息の白さ》

《BGM：♪星の瞬きを感じさせるピアノ曲》

《SE：静かな夜、遠くで風の音、しんとした空気》

蒼空（見上げながら）

……すごい、また流れた。

凧咲（目を輝かせて）

わっ、今の見た？ 長かったね！

（…しばし無音の空気）

凧咲（静かに）

ねえ、そらくん。
わたし…春に、この町を出るの。

蒼空（動揺）

…え？

凧咲

東京の大学。推薦で決まっていたの。…言えなかったけど。

（静寂。流れる風の音）

蒼空

……そっか。

凧咲（言葉を絞り出すように）

でも今日、来てよかった。そらくんと流れ星、見れて。

蒼空（少し苦しそうに）

…凧咲……

凧咲（感情を押さえて）

わたしね、
流星群と一緒に見た人と、来年もまた、見たいって思ってたの。

（沈黙）

蒼空（強く、でも優しく）

来年、俺が行く。
東京でも、同じ空は見えるよな？

凧咲（涙交じりの声で）

……うん。約束、してくれる？

蒼空

するよ。
流れ星に願うより、ずっと確かな約束を――。

《SE：携帯のバイブ音→通話の音》

《BGM：♪再会を思わせる温かなピアノ》

凧咲（電話越し、少し緊張しながら）

…もしもし？

蒼空（電話越し、やわらかく）

空、見てる？

凧咲（空を見上げながら）

うん。今…流れたよ。
一つ、二つ……

蒼空

俺も、見てる。
約束、果たしに来たよ。

凧咲（涙交じりに微笑んで）

……ありがとう。

《BGM：♪希望を感じる音に変わっていく》

ナレーション

流れ星は、すぐに消えてしまう。
けれど、あの日交わした想いと約束は、
どんな空よりも確かに、心に残り続ける――。

（フェードアウト。夜空に流れる星のSE）

【完】